

(科目名) 京都の地域課題・地域リソース実践学 (<small>（関連教育システム論基礎演習Ⅱa）</small>)			部局の学部専門科目として提供
(所属部局) 教育学研究科	(職名) 准教授	(氏名) 渡邊 洋子	(開講期) 前期 (授業形態) 演習(宿泊研修を含む) (対象回生) 2・4回生 (対象学生) 全学生
(授業の概要・目的) 京都の一地域を足場に、学生が自らの足や五感を用いて地域の現状に触れ、地域課題をつかみ取ると同時に、自然・歴史・産業・社会・文化など多岐にわたる地域リソース(モノ・人・情報など)を掘り起こし、活用・共有・継承・発展するための方策を、他の受講者や住民とともに共同で考え、提起する授業である。 【到達目標】 1 地域住民・行政・第三者の視点から地域課題を捉え、問題解決的に考える。 2 地域リソースに気づき、評価し、総合的・建設的視点から具体策を提起する。 3 グループ活動で積極的に役割を担い、グループの目的達成に貢献する。 4 地域住民との情報共有や意見交換など、異世代との問題解決を経験する。			
(授業計画と内容) 京都府立ゼミナールハウスを足場に、京北地域の自然環境や伝統文化、地場産業等について、フィールドワークや実地訪問、地元住民へのインタビュー調査、関連文献や各種データなどをもとに、地域課題、および地域リソースの掘り起こしと活用・共有・継承などの可能性を検討し、提言書を作成・発表する。 【主な内容】 ○オリエンテーション ○事前学習 ○宿泊研修(2泊3日)(1日目 関係者のお話・懇談、打ち合わせ/2日目 フィールドワーク グループ話し合い /3日目 地域の人々のお話・意見交換) ○グループ活動(追加調査、提言書の作成・パワーポイント準備) ○提言発表会 (成績評価の方法・基準) 参加態度・最終レポートなどを総合して評価する。			
(履修要件) 全日程への出席と能動的参加が可能な者			
(教科書) 『生涯学習概論—知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』(ミネルヴァ書房、2014)			
(参考書) 『日中韓の生涯学習—伝統文化の効用と歴史認識の共有』(明石書店、2013)			